	科目名	時間数	開講年次	担当講師
専門分野	基礎看護技術 Ⅰ	72時間	1年前期	第1編　榊原　恵美 第2編　冨士川俊子
科目目標	・看護実践に必要な基礎的知識・技術・態度を習得する。 ・患者の心理・行動の理解、患者を支援するためのコミュニケーション方法を学ぶ。			

授業内容	時間	教育方法	備考
<u>第1編　基礎看護技術</u>	1		
1.看護技術の基本 <u>Ⅰ.コミュニケーション</u> 1.コミュニケーションの意義 2.コミュニケーションの種類 3. コミュニケーション構成要素 4.より良いコミュニケーションの方法 5.より良いコミュニケーションへのポイント 6.コミュニケーションの影響因子 7.コミュニケーション技術を身に付ける方法	6	講義 ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ 演習	
<u>Ⅱ.観察</u> 1. 観察の意義 2. 観察の目的 3. 観察の種類 4. 観察の要件 5. 観察の方法 6. 観察の視点 7.観察技術を高める方法	8	講義 ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	
<u>Ⅲ.バイタルサイン</u> A.　意識 1. 意識と意識障害とは 2.援助の基礎知識 3. 原則 4. 意識の観察 B.　呼吸 1. 呼吸とは 2.援助の基礎知識 3.原則 4. 呼吸の測定 C. 脈拍 1. 脈拍とは 2. 援助の基礎知識 3. 原則 4. 脈拍の測定 D. 血圧 1. 血圧とは 2.援助の基礎知識 3.原則 4. 血圧の測定	16 (10)	講義 ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ 演習	血圧測定 技術試験 (実習前 技術試験 含む)

授業内容	時間	教育方法	備考
E. 体温 1.体温とは 2.援助の基礎知識 3.原則 4.体温測定			
Ⅳ.身体各部の計測 A.身長 1. 身長の測定とは 2.原則 3.身長の測定 B.体重 1.体重の測定とは 2.援助の基礎知識 3.原則 4.体重の測定 C.胸囲 1.胸囲の測定とは 2.原則 3.胸囲の測定 D.腹囲 1..腹囲の測定とは 2.原則 3..腹囲の測定 E.握力 1.握力の測定とは 2.援助の基礎知識 3.原則 4.握力の測定 F.肺活量 1.肺活量の測定とは 2.援助の基礎知識 3.原則 4.肺活量の測定	4 (1)	講義 演習	
Ⅴ.記録と報告 A.看護記録 1.看護記録とは 2.記録の意義 3.記録の目的 4.記録の種類 5.経過記録の例 6.記録の基本 7.記録の管理 8.カルテの開示 9.電子カルテ 10.記録内容を充実させるために B.報告 1.報告とは 2.報告の意義 3.報告の目的 4.報告の種類 5.報告の方法 6.報告の技術を高める方法	6	講義 ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	

授業内容	時間	教育方法	備考
Ⅵ.看護過程 A.看護過程とは 1.看護過程の概念の変遷 2.看護過程の利点 3.看護過程の構成要素と相互関係 B.看護過程の各要素 1.アセスメント 2.計画立案 3.実施 4.評価 C. 看護過程の展開 1.アセスメントガイドを活用した対象の理解 2.関連図（全体像）と看護問題の抽出 3.看護計画と実施 [付]クリティカルパス	9 (3)	講義 ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ 演習	
第2編　患者の心理 序章　患者の心理の理解と看護 1.人の心理と心の健康 Ⅰ. 患者の心理を理解するための基本 Ⅱ. 心の健康とは Ⅲ. 心とストレス 2. 患者の心理の理解と支援 Ⅰ. 患者の心理の理解 Ⅱ. 患者の思いに近づくための方法 6. 医療従事者の心理 Ⅰ. 医療従事者の役割 Ⅱ. 看護師の心理	16		配点10点
◎終講試験・解説	2		
◎集中講義　　まとめ　2年次	4		

テキスト

看護学入門6　基礎看護Ⅱ（基礎看護技術）　メヂカルフレンド社

評価方法

終講試験（90点：第1編80点、第3編：10点）　技術試験（10点）　授業態度　課題提出状況